

2023年6月7日

会社名 株式会社 ペルセウスプロテオミクス
代表者名 代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉
(コード番号：4882 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員 管理部長 鈴川 信一
TEL:03-6264-8224, mail: ir@ppmx.com

PPMX-T003 を ANKL 治療に用いる論文が 米国血液学会誌『Blood』にオンライン掲載されました

株式会社ペルセウスプロテオミクス（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：横川拓哉）が開発中の抗トランスフェリン受容体（TfR）抗体 PPMX-T003 が ANKL 治療戦略に有効であることを示した論文（東海大学医学部の幸谷愛教授と当社 CTO を含む共同研究者らによる共著）が、このたび血液学のトップジャーナルである米国血液学会誌『Blood』にオンライン掲載されましたのでお知らせいたします。

ANKL は予後がきわめて不良である超稀少疾患であるため、患者さんのがん細胞やモデルマウスが乏しく、発症原因の解明や効果的な標準治療法の確立が進んでおりません。そうした中、幸谷教授の研究グループは、ANKL 患者さんのがん細胞を導入したモデルマウスを確立し、がん細胞が肝臓に生着することや、がん細胞の生存にとってトランスフェリン受容体が重要であること、鉄の取り込みを阻害する PPMX-T003 がモデルマウスの生存を延長できることを確認しました。腫瘍微小環境の解明の結果、肝臓が ANKL 細胞生存のニッチ（特別な環境）として機能することや、Tf-TfR1 の結合阻害が ANKL の治療戦略として有望であることが明らかになったものです。

当社は現在、幸谷教授の研究グループと共同で、ANKL 等の血液疾患に関する治療薬の研究開発に取り組んでおります。また、ANKL 患者さんを対象とした医師主導第 I/II 相試験では、今後被験者登録の後、患者さんに投与される予定です。

【 論文情報 】

タイトル : Hepatic niche leads to aggressive natural killer cell leukemia proliferation through transferrin-transferrin receptor 1 axis

掲載誌 : Blood

著者 : Kameda K, Yanagiya R, Miyatake Y, Carreras J, Higuchi H, Murayama H, Ishida T, Ito A, Iida S, Fukuhara N, Harigae H, Fujioka Y, Takahashi N, Wada H, Ishida F, Nakazawa H, Ishihara R, Murakami Y, Tagawa H, Matsuura T, Nakagawa S, Iwabuchi S, Hashimoto S, Imadome KI, Nakamura N, Ishizawa K, Kanda Y, Ando K, Kotani A.

掲載先 : <https://doi.org/10.1182/blood.2022018597>

以上